

参加者 180人が自慢の腕前を競う

「福智町グラウンドゴルフ大会」の決勝戦が9月11日に開催され、各支部予選を勝ち抜いた30チーム180人の精鋭が方城グラウンドに集結しました。参加者は約3時間かけて8ホールを2回プレー。ホールインワンが相次ぐなど、日ごろの成果を競い合いました。【結果】優勝：野添 G/G 愛好会 A、準優勝：新門上、3位：野添 G/G 愛好会 B、4位：生力コスモス



↑最高齢参加者の原田福次郎さん(93歳)のショット。ホールインワンも達成しました。

↓小さな舞台で繰り広げられるドラマチックストーリーを、大人も一緒に楽しみました。



秋の夜長に親子ですてきなひととき

福智町青少年育成町民会議主催の「親子で楽しむ夕べ」が、10月4日に同和対策研修センターで行われました。今年は、九州を中心に年間800公演をこなすプロの人形劇団「ばれっと」が、手作りの人形を巧みに操り、童話「シンデレラ」を好演。人形とは思えない繊細な動きと抑揚のあるセリフに、参加した400人の親子は感動と楽しさを共有できた様子でした。

町出身者がCMキャラクターを作成

たこ焼きでおなじみの八ちゃん堂のイメージキャラクターを、福智町弁城出身の土肥志文さんが作成しました。多摩美術大学(東京都)に通う土肥さんが、動画投稿サイトに公開した自作のアニメーションが話題となり、八ちゃん堂が作成依頼。誕生した「解凍戦士タコヤキンガーZ」はテレビCMなどに起用され、フィギュアストラップ(非売品)も作られています。



↑「タコヤキンガーZ」の迫力の変身シーンは、八ちゃん堂のHPでご覧になれます。

↓上野焼の4窯元が競作した作品。みずみずしい新米をより際立たせていました。



実りの秋を告げる収穫祭で旬を堪能

上野焼と特産米をPRする「収穫祭」が10月22日から4日間、上野の里ふれあい交流会館で開かれました。この日のために制作された三角形の皿と地元の新米おにぎりをセットにしたプレートセットは、1日限定100セットが午前中で完売するほどの大盛況。お目当ての品を求めて町内外から訪れた来場者は、趣向を凝らした作品と食欲の秋を満喫しました。

↓4人のライダーが交代で約1か月かけて東京をめざし、途中10数か所でTOTOの環境保全活動をPRします。



ユニークなバイクが福智に参上

3年前から奥池公園(弁城)でどんぐりの植樹を行っているTOTO(本社:北九州市)が、10月6日に福智町で珍しいバイクをお披露目しました。バイオガスを燃料に走る「トイレバイクネオ」。その名のとおり、シートが便座になっているユニークなつくりで、各地でエコをPRしながら東京をめざします。本社出発後、最初に訪れた物産館拾伍では、約100人の前で環境紙芝居などを披露。その後、中央・すずらん保育所の園児が合唱し、町が「事故無し」の願いを込めた赤池梨を贈って旅の出発を激励しました。

福岡県民体育大会 結果 福智のアスリートが己の限界に挑戦

県民体育大会が8~9月に行われ、福智のアスリートが郡代表として挑戦し、各種目で活躍しました。水泳競技の60~64歳の部に出場した梶原信子さん(上野)はバタフライで優勝、背泳ぎで3位を獲得。特に50メートルバタフライでは、41秒29の大会新記録を樹立しました。【バドミントン】一般男子(団体):準優勝【弓道】一般女子(団体):4位



↑50メートルバタフライで大会新記録を樹立した梶原さん。11連覇を成し遂げました。

↓年齢を問わず気軽にできるシャッフルボードで、声援を背に競技を楽しむ参加者。



下田川親善スポーツ大会 ニュースポーツで地域の枠を越えて交流

福智町と糸田町の子ども会育成連絡協議会主催の「下田川親善スポーツ大会」が9月4日に金田分館で開催。参加者43人がゲートボールと囲碁を組み合わせた「囲碁ボール」や、杖で円盤を得点エリアに押し出して得点を争う「シャッフルボード」で爽やかな汗を流し、地域を越えて親睦を深めました。※大会は、下田川ライオンズクラブの助成で開催されました。